

(1ページから続く)

に薬剤師が向き合う。カフェイン中毒のエピソードは、若者を中心にカフェイン錠剤の過剰摂取による死亡事例が相次いでいるというニュースから着想を得て、ストーリーを組み立てた。

薬学とは無縁の読者も自然とキャラクターに感情移入し、ストーリーに入り込める。新人薬剤師の目線で薬局の業務内容を分かりやすく説明しており、薬剤師が身近に感じられるのは、実際に薬剤師として働いていた三浦さんだからこそ成せる技だ。

「読者の身にも現実には起きそうな話題や、自分にも関係するのではないかなと思うことを選んでテーマにしている。医療をもっと身近なものに感じてもらいたい」と語る。

薬剤師時代に三浦さんは、医療は敷居が高いものだと思われていた。患者が医療を「自分には難しくわからないもの」と捉えてしまうため、治療や診断に疑問を持って、「プロである医師が言っているのだからそういうものだ」と疑問を放棄してしまう光景を目の当たりにした。

「疑問を持つその感覚こそが大事。医療は、患者

がおかしいと思うのであれば、実際におかしいこともある。そんな身近な存在だということ伝えてみたい」

8年間の病院薬剤師の経験も漫画に反映されている。多職種と連携して働いたり、患者やその家族と向き合ったりするなど、病院は「今この人が何を考えているのか」を常に意識することが求められる職場だった。病棟に足繁く通い、がんばって処方薬について患者に説明しても、まったく伝わらないこともあったが、それでも患者が求めていることを一杯探ろうとした。

「どうやったら患者に伝わるのかを考え、人の気持ちの奥深くまで読み取ろうとしていた。処方箋上のアリアでも、患者の気持ちを描写している。私が苦悩したこと、薬剤師を通じて得られた経験が漫画の中で描かれていると思う」

漫画では、患者の心の内だけでなく、支える家族の愛情、憎しみまでも生々しく描写され、薬剤師がそこに深く関わることで、ただ薬剤師が登場するだけではない、心をえぐられる人間ドラマが展開されている。三浦さんの薬剤師としての経験が、無意識にも作品に反映されているようだ。

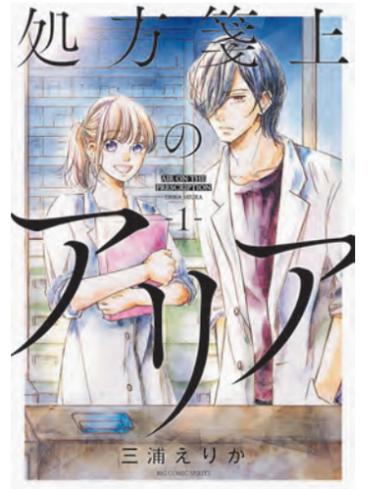
だの憧れ」から「挑戦してみた」に変わった。

漫画や絵は、小さい頃から遊びの延長で描いていた。小学生のときには、ゲームを題材にした四コマ漫画をゲーム会社に投稿していた。三浦さんは、その経験を思い出しながら、病院薬剤師の業務と並行して原稿用紙に少女漫画を描き、出版社への投稿を繰り返した。

努力が実り、小学館の少女漫画誌「ベッコミ」2014年1月号に「夢見るリトルライター」が掲載され、漫画家デビューを果たした。

その後の数年間は、読み切りの少女漫画を複数創作。8年間勤めた病院を退職した後、拠点を東京に移し、薬局薬剤師として働きながら漫画の創作を続けた。恋愛がメインの少女漫画だけでなく、青年漫画にも挑戦したいと思うようになり、編集者から薬剤師をテーマにしたら面白そうと提案を受けた。

「私にとって薬剤師の業務は日常であり、呼吸をするようなものだったので、本当に面白いのか疑問だった」と振り返る三浦さんだが、提案を受け入れ、薬剤師が主人公の処方箋上のアリアを創作。結果的にはこれがヒットした。



「処方箋上のアリア」の表紙 (ビッグコミックスピリッツ編集部提供)

## 病院薬剤師と並行し作品投稿

### 編集者の提案受けヒット作生む

三浦さんが漫画家を本格的に志すようになったのは、病院薬剤師として働き始めて3年目の頃だ。

外で遊ぶよりも家で漫画やアニメに夢中になっていた子供時代、漫画家への憧れはあったが、どこか雲の上の存在でもあった。小さい頃から体が弱く、

より現実的な職業として医療に関係する仕事がしたいと考えて薬学部に進学。卒業後、宮城県内の総合病院で薬剤師として勤務していたが、体調を崩して仕事を長期間休むことになり、この期間中、「もの凄く人生について考えた」。そこで漫画家が、「た



「処方箋上のアリア」の一場面 (ビッグコミックスピリッツ編集部提供)



## まずは仕事に飛び込んで

三浦さんは現在、漫画家一本で活動している。漫画は自宅の部屋で全て1人で創作し、アシスタントは雇っていない。部屋には、ストーリーを考える上で参考にする資料が山積みになっているという。

今後のビジョンについては、「目の前の作品に一所懸命になって、あまり先のことは考えていない。薬のこともそうでないことも、描きたいことはた

くさんある。その時に必要とされるものを描いていきたい」と三浦さん。

薬学生に向けては、「一度決めた仕事を一生やらなければいけない必要はどこにもない。まずは自分ができそうだった職業に飛び込んでみてはどうか。そこで面白さを見出したり、あるいはほかに面白いことが見つかったりするかもしれない。本当は違うことがやりたかったのに薬局に勤務することになったとしても、薬局での経験があるからこそ、その後にできることが広がる。可能性は無限にある」と呼びかける。

三浦さんこそ、「面白い薬剤師」の最先端だろう。漫画家としてのこれからの可能性も無限大だ。

薬学生のための求人情報サイト

ファーネット2021&2022&2023

プレOPEN中! 先行登録受付



# 病院求人件数

ナンバーワン!

全国の病院・薬局を300件以上掲載!

<https://www.pha-net.jp/>

ファーネット

検索

今すぐ登録!

